

臨床研究部だより 2025年9月

「臨床研究とチームワーク」

夏の甲子園、沖縄尚学高校が見事に夏初優勝を遂げました。1回戦から緊迫した接戦を制し、我々に感動や元気を届けてくれ、ありがたい感謝の気持ちでいっぱいです。選手のひたむきなプレー、チーム一丸となって目標に向かう姿、観客やテレビ視聴者にも自分事として喜びを与える力、スポーツの魅力です。

実は臨床研究もチームワークが大切です。臨床研究の問いはベッドサイドでの「個人の気付き」に始まり、それを明確化し計画を立てることから研究が始まります。そのあと「他者・研究協力者へ問う」行動へ移りますが、計画発案者と他者とは立場や熱量が異なり、壁にあたり、くじけそうになることもあります。ここで大切なのは発案者の情熱と共感させる力、そして協力者の寄り添う気持ち・自分事として捉える力だと考えています。そこから共振の輪が広がりチームが作られ研究がすすめられます。

研究の本質は未知への挑戦であり、はじめのうちはゴールは見えません。勝利という明確な目標を持つスポーツとは出足のスピード感、まとまり感は大きく異なります。ただ周囲を巻き込み、新しい知見・感動を作る行為は似ているかなと考えています。

研究発案者に大切なこと：想像力と情熱をもって耐える力。

研究協力者に大切なこと：寄り添う気持ちと自分事として捉える力。

臨床研究はゆっくり共振の輪を広げ、チームを作り、未来を創る仕事だと考えています。

～よりそう探究心～ 臨床研究部 河崎英範